

東日本大震災

# 奪い人命、生活基盤を奪った巨大津波



発行所 国鉄労働組合盛岡地方本部  
発行者 齋藤庄司  
編集者 中堤聡司  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2011.4.10  
第1432号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを 皆の力で」  
「一緒に解消しませんか、 あなたの疑問。 加入ってます」



大船渡線の陸前矢作・竹駒間の越戸踏切付近から撮影、ここから大船渡までの約24キロ間の7駅と線路が全て流された。(3/12、熊谷泰幸気仙沼地域分会分会長撮影)



釜石線の津波と火災も発生し被災した陸中山田駅(4/1、佐々木研司盛岡支部委員長撮影)

地方本部は、今回の地震で被災した組合員の生活支援のキャンパを3月20日付の指示第19号で取り組みを要請しているが、自宅崩壊・流失など甚

## 甚大な被害の組合員に見舞金

大な被害を受けている組合員12人に、当面の生活支援資金の一助にと見舞金を4月6日に被災地などを訪ねる組合員に届けるとともに現状を把握に

努めている。同時に、3月24日、25日に届けた支援物資に続き、4月3日に秋田地本から届けられる支援物資と被災された組合員の声を聞き、必要とする下着靴など物資を地方本部で用意し届けた。



釜石地域への支援物資(森田薫さんの自宅、3/25)



地震当日の様子を話す熊谷泰幸気仙沼地域分会分会長、3/25・自宅)



本部、東日本本部からも義援金(写真は、高橋委員長から齋藤委員長へ、4/4・地方本部)

計り知れない自然の驚異、3月11日の東北地方太平洋沖を震源とするM9の大地震・巨大津波によって奪い人命、生活基盤、町々の色・空気が一瞬にして奪いさらわれ虚化した被災地を目にした。しかし、震災から約1カ月、各被災地で自然に負けないと人間の力によって、協力し合い復旧・復興が続けられている。国労も本部・地方に対策本部を設置し被災組合員などへの支援や鉄道の復旧に向け努力を要請、JRの各線区も動き出している。各地で私たちの助け合いの輪を広げよう。

## 多くの組合員も被災

### 全国からの支援物資を現地へ



支援物資を手にする組合・家族。写真右上が故人・熊谷秀三さん宅。(JR大船渡線営業所付近、3/28)



宿舎APを失った気仙沼地域分会の金野雅之さん(左)に当面の支援金として見舞金。(大船渡JR AP前4/6)



津軽石の自宅一階が被災した盛岡運転分会の遠藤浩文さん。津波当時の様子と現在の生活状況を報告(4/7、地方本部)

### 熊谷秀三さんのご冥福をお祈り 齋藤委員長ら自宅を訪ねて焼香

気仙沼地域分会の副分会長で陸前高田駅に勤務中、今回の地震で亡くなられた、熊谷秀三さんの自宅を4月3日に組織を代表し地方本部の齋藤委員長、佐々木書記長と盛岡支部の沢田書記長が



駅の原型のない大槌駅(4/1、佐々木研司撮影)



津波の高さを示す、鶴住居小学校3階に軽乗用車が(4/1、佐々木研司撮影)

3月11日(金) 2時46分に発生した「東日本大震災」は、最大震度7・マグニチュード9.0という日本観測史上最大・最悪のものとなった。直後に発生した巨大津波によって沿岸部の市町村は壊滅状態となり、多くの尊い人命が失われた。火災や爆発事故で多くの方が負傷されている情報も明らかになっている。死者・行方不明者が10万人を越えた関東大震災以来の大惨事になる恐れが強まっている(被災者数4月2日現在死亡11,828人・安否不明18,143人)。ライフラインが失われ、寒さと飢えの中で救助を待つ被災者が多数おられますが、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様方に心よりお見舞い申し上げます▼JRをはじめ公共交通機関にも多大な被害状況が明らかとなっている。東京電力、福島第一原発では津波により非常用電源が作動せずコントロール不能となつて、4基の原子炉のうち3基が爆発して火災も発生した。保安院は同原発から半径20km以内の住民らに避難指示を出した、避難者は家族の安否確認もできていない。海水からは原子炉からの放射線物質が確認された。大地震と津波の常習的に、原発をつくってきた政府や電力会社の責任が問われる▼統一地方選は、岩手・宮城県の県選などは延期されたが青森県議員・八戸市議会議員・矢巾町議会議員選挙が実施される。いまの「国難」を乗り越え原子力行政、エネルギー政策転換のためにも、延期される岩手県選挙などもあわせ組織内・推せん候補者の議席確保に向けて取り組みを強化しよう(聡)

# 大会 第121回 地方委員

## 諸課題解決に国労が中心軸に

### 地方統一選、推薦候補当選に奮闘しよう



委員会には70人が参加、挨拶する齋藤地本委員長

承認され、経過と当面する闘争方針(案)の提案を書記長が行い昼食休憩に入った。昼食後、経過と方針討論に入り、12月4日実施の新幹線の青森延伸、設備・電気部門におけるメンテナンス改善の実施に伴う問題点をはじめとする厳しさをまず出向先を含む職場の実態、エルダーの職場問題、

### 新幹線延伸、メンテ問題など

### 9人の代表が方針討論で発言

方針の討論の発言要旨は、次の通り。

※笹山賀庸委員 (八戸工務分会) △年末年始の豪雪、寒さの中で色々な状況が発生し結氷、除雪などJR、パートナー会社社員、休みなく働かされているのが現状だ。設備、電気メンテ改善、安全問題、パートナー会社の人員問題も含め検証が必要だ。

△3月5日から走るはやぶさ3号はモニターが利用できないと聞くがどうなるのか。 △病気で働けなくなった人、病気が気にかかり不安、職場確保を会社に申し入れてほしい。 ※高森英明分会代表 (青森駅連合分会)

△12月4日の新幹線新青森駅延伸開業に伴う問題点が蔓延、新青森駅では待合室の不備など多くある。利用者の声を聞き、

組織拡大、2011春闘の取り組みなどについて9人から意見や要望が出され、執行部の中間答弁と佐々木書記長の集約答弁が行われ拍手で方針が承認され確立された。最後に、大会宣言を中堤執行委員が読み上げ提案、承認、齋藤委員長が団結ガンバローで終了した。

んの協力もお願いしたい。 ※星修特別委員 (北上地区協) △北上新幹線職場、12月4日の異動は国労8人と多い。公平性に疑問がある。 △一部の主任はパソコンに張りつき超勤も多い。反面、夜間作業も含め責任者は技術係や施設係だ。疑問を感じる。 △異議選挙、北上地区協には久保、木村の2人の組織内候補、是非南地区の組合員を中心に協力をお願いしたい。 ※高橋清光委員 (青森連転分会)

△12月4日のダイヤ改正で仕事が増えつつある。組合員の声を聞き、改善を求め要求を出したい。 △ポイント割り出しで脱線事故、危険を訴えていたが対策が講じられないままでの事故だ。また、足を挟まれる事故、対策として現在は2人体制を作っている。 △エルダーを希望する社員、通院中で地元を希望だが、盛岡地区の仕事をお願いされている事情をくんだ扱いを求めている。 ※高橋涼特別代表 (貨物協議会)

△会社は、社員に犠牲押し付け人件費を減らそうとしている。社員は半減、12年連続のペアゼロを避けるためにもストライキも考えてほしい。 △八戸から盛岡へ8人が転勤し通勤、八戸地区での雇用を求めているが厳しい。 △出向先の労働条件が厳しくなっている。特にロジステックへの委託が増え仕事が増えている。休日大幅に減、労働条件改善の取り組みを強化

してほしい。 ※吉田一久分会代表 (一関運輸) △若手の社員が業務発表会の資料作りで超勤も多く大変だ。 △3月1日に気仙沼へ国労1人が転勤、4人続けて国労。冬期体制でも今年も国労、主任試験も合格者なし、不公平感は依然としてある。 △エルダー希望者、盛岡の問い合わせセンターしかないといわれている。 ※金野雅之委員 (気仙沼地域分会)

△盛岡1交勤務、ダイヤ改正で車通勤から列車通勤へ。日勤は車通勤が認められ、前払い後日精算になっている。 △緊急に要請で車で通勤した場合、渋滞などに巻き込まれ勤務時間に遅れた場合はどうなるのか。



佐々木喜一委員 (北上工務分会)



高森英明分会代表 (青森駅連合分会)



星修特別委員 (北上地区協代表)

執行部による中間答弁要旨は次の通り。 ◇ 試験では国労組合員も上位職に合格してきている。助役になっても国労にいられるよう東日本本部と一緒に取り組んでいきたい。 ○八戸の豪雪や散水・結氷問題、メンテの問題など来年の冬期体制に向け取り組むので、職場討議を行い問題点を提出してほしい。 ○パートナー会社の予算確保、安全を守る闘い、青い森鉄道の問題も含め取り組む。 ○はやぶさのモニター問題、現時点では無理と思う。 ○新青森駅内の設備の問題は我々も理解している。国労として改善の要求は出ていく。 ○人事・賃金制度の見直し問題については、総合労働協約の問題と結合し東日本本部の指示のもとに対応する。 ○出向先での超勤問題、追給は出来る。調査したものを提出してほしい。

出してほしい。 ○エルダーの職場問題、本人希望に努力するが、単身赴任ではなく通勤できる職場を要求している。体の悪い人は本人と相談し扱ってほしい。 ○4月の組織内異議選挙、IGR・青い森鉄道問題ひとつとっても異議会議員は大切、全力で取り組んでほしい。 ○転勤問題、支社には引きつづき公平・公正を求めていく。反面的に国労が仕事の中心にいるという側面もある。 ○主任職の業務内容、職場の実態をしっかりと調査し報告してほしい。 ○差別のない試験制度やブラザーなどへの国労組合員の登用は求めていく。 ○新規採用者に国労という組織を知ってもらうための取り組みを強めていく。 ○一括和解除以降、少なからず会社の対応で前進面はある。今後も支社には公正、公平な対応を求めている。 ○気仙沼の通勤費問題は規定通りと思う。 ○自動車通勤要請の遅れは、本人の責任にはならない。

技術継承問題も含め取り組みを強める。人事・賃金制度、労働条件に関する協約問題、東日本本部の指示のもと対応する。出向者・エルダー組合員の交流会を開催し意見交換を図る。貨物問題は、点検・調査、改善など本部や貨物協と連携し取り組む。 「公共交通を守る闘い」 ↓青い森鉄道、IGRいわて銀河鉄道の経営は厳しい状況。並行在来線は、通勤・通学・通院・福祉を含め生存権に関わる大切な路線。環境問題、物流など経済政策上も重要な交通機関だ。青森・岩手、本部対策会議などと連携し、国労の政策提言の実現に努める。 「政治闘争の強化」 ↓国民投票法、改選の防衛大綱など、

一括和解後、職場で差別的労働政策・人事異動などすべてが是正されていないが、昇進試験複数回合格、長期単身赴任解消など小さな変化も生まれている。変化を見逃さず、対等な労使関係をつくり、会社を変えさせ、意見交換の場を持つよう東日本本部と一体で取り組みを強化する。労働条件改善と安全・安定輸送の確立を、仕事・安全総点検運動と効率化施策の検証や

「JR不採用問題の最終解決の闘い」 ↓雇用の確保に向け、4党の政治的合意事項の実現に向け本部、東日本本部と連携し取り組みを強める。音威子府・帯広の事業体支援の購入運動に協力を要請する。多くの支援を受け今日をむかえた、今度は私たちが共闘の仲間を地域課題などに積極的にかかわる運動が大切だ。 「2011年春闘の闘い」 ↓地域春闘を盛り上げることが

### 一步前に入る組織拡大で 運動の財産を若い世代へ

### 佐々木書記長 集約(要旨)

大切、共闘、各地区の運動に積極的な参加を要請する。国労として5000円の賃上げを各会社に2月9日に労働条件改善要求と合わせ提出、3月17日を回答指定日としている。貨物の現状を理解し「客貨一体」の運動めざし、各集会などの成功に向け協力を要請する。 「一括和解以降の職場の取り組みと労働条件改善、安全・安定輸送の確立の闘い」

「組織強化・拡大の取り組み」 ↓組織強化・拡大は、国労の最重要課題、地本から支部へ、支部から分会への指導と点検を取り組んでいる。会社への影響力を高めることが、健全な労使関係の確立、差別を是正の近道でもある。同時に組織を国労運動という財産をしっかりと若い世代に引き継ぐ任務がわれわれにある。今こそ全組合員が「一步前に入る」取り組みを要請する。

改憲機運を高める動きが強い、岩手・青森両県の憲法記念日意見広告に協力を要請する。統一地方選挙、組織内の奈良岡克也、木村幸弘、久保孝喜、山崎道夫候補の必勝はもとより、推薦候補者の当選をめざし奮闘を要請する。

「組織強化・拡大の取り組み」 ↓組織強化・拡大は、国労の最重要課題、地本から支部へ、支部から分会への指導と点検を取り組んでいる。会社への影響力を高めることが、健全な労使関係の確立、差別を是正の近道でもある。同時に組織を国労運動という財産をしっかりと若い世代に引き継ぐ任務がわれわれにある。今こそ全組合員が「一步前に入る」取り組みを要請する。